

Q<sup>3</sup>

当社では、海外の取引先から原材料の輸入を新たに行います。輸入代金は外国送金で決済する予定ですが、相手方から、送金依頼の際の受取銀行の情報として「SWIFTコード」というコードを通知するように指示されました。これはどのようなものか教えてください。

A<sup>3</sup>

SWIFTコードとは、世界の金融機関が加盟している国際銀行間通信システムである「SWIFT」における銀行を特定するコードのことをいいます。

現在、世界の主要な金融機関は、外国送金の支払指図や資金決済指示の通信等を行うため、国際銀行間金融通信協会(SWIFT：Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication)が運営する通信システムを利用しています。2011年6月時点で世界209カ国の9,800を超える金融機関がSWIFTに加盟しており、外国送金の通信の他、国によっては国内の資金決済でもこのシステムが利用されています。

SWIFTを使用した通信を行う際に加盟金融機関を特定するため、国際標準化機構(ISO)が定めたコードがSWIFTコードであり、BICコード(Bank Identification Code)とも呼ばれています。

SWIFTコードは、8文字または11文字で成り立っています。

金融機関コード	4文字
ISOの国名略号	2文字
所在地コード	2文字
支店コード	3文字(任意付与)

#### (例) 七十七銀行のSWIFTコード

<u>B</u>	<u>O</u>	<u>S</u>	<u>S</u>	<u>J</u>	<u>P</u>	<u>J</u>	<u>T</u>
金融機関コード				国名略号		所在地コード	

外国送金を行う場合に支払銀行のSWIFTコードがわかれば、支払指図の情報をより確実なものにすることができ、スムーズに送金を行うことができます。外国送金を申込む際には、支払銀行名・住所等を記入する欄に、SWIFTコードを記入すると良いでしょう。